

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 27 年 4 月 23 日 (2015.4.23)

【公開番号】特開 2014-140127 (P2014-140127A)
 【公開日】平成 26 年 7 月 31 日 (2014.7.31)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-041
 【出願番号】特願 2013-8536 (P2013-8536)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 12/70 (2013.01)

H 0 4 M 3/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 L 12/56 4 0 0 Z

H 0 4 M 3/00 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 27 年 3 月 6 日 (2015.3.6)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 6】

本技術分野の背景技術として、国際公開第 2 0 0 9 / 0 4 0 8 7 6 号 (特許文献 1) がある。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 8】
 【特許文献 1】国際公開第 2 0 0 9 / 0 4 0 8 7 6 号

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 1 3 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 1 3 8】

アクション情報 1 0 4 にレコードが登録されていない場合、管理情報更新処理部 1 1 6 は、アクション情報 1 0 4 が未生成であると判定し、管理者が アクション情報 1 0 4 を生成するために、アクション情報 1 0 4 のアクション ID 5 0 0、実行条件 5 0 1、実行装置 5 0 2、実行内容 5 0 3、及び対象 5 0 4 の設定データを入力可能な画面であるアクション情報入力画面を、マンマシン I F 1 1 8 を介して出力する。なお、実行装置 5 0 2 の設定データを管理者がネットワーク構成情報 1 1 0 に登録された情報から選択して入力可能にするために、管理情報更新処理部 1 1 6 はネットワーク構成情報 1 1 0 をマンマシン I F 1 1 8 を介して出力してもよい。

【手続補正 4】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 2 3 0
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【0230】

S809の処理では、S801の処理で読み出された全てのレコードに対してS802～S808の処理が実行されたので、処理を終了する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0232

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0232】

アクションID「3」の処理については、S907の処理以外の処理は上記したアクションID「1」の処理と同様であるため、説明を省略する。S907の処理で、管理装置100は、DHCPサーバ206に対して疎通確認をルータ202に実行させ、疎通確認の結果を保持する。なお、ルータ202とDHCPサーバ206とを接続する接続回線216に障害が発生しているため、疎通確認は失敗する。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0238

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0238】

S909の処理では、S901の処理で読み出された全てのアクションIDのレコードにS902～S908の処理が実行されたため、アクション実行処理部115の処理を終了する。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0275

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0275】

S809の処理では、サービスID「2」のレコードに対して、S802～S808の処理が実行されていないので、サービスID「2」のレコードに対してS802～S808の処理を実行する。S802～S805、及びS808の処理は上記したサービスID「1」のレコードに対する処理と同様なので説明を省略する。